

政策研究ネットワーク「なら・未来」

～ 自治体の未来、市民主体の地域づくりを総合的に研究・提言する市民団体です ～

ローカルマニフェスト運動をきっかけに誕生！

政策研究ネットワーク「なら・未来」の原点は、北川正恭・早稲田大学名誉教授（元三重県知事）が提唱したローカルマニフェスト運動の奈良での推進にありました。それ以来、奈良という地域をフィールドとして、市民の視点からの地方自治充実・強化に向け、15年以上にわたってさまざまな活動を展開しています。

トータルな視点から政策提言を行う希少なNPOです！

「なら・未来」の特徴は、個別の政策分野に限定せず、大きな視点から政策を研究していることです。もちろん、分野を絞って深く究めることも大切ですが、トータルな立場から自治体運営および地域づくりの手法や方向性、施策の優先順位などについて考えることも重要です。たとえば、自治体のマスタープランである総合計画について考えたり、市政や議会の活動を評価する際には、こうしたアプローチが欠かせません。

マニフェスト大賞市民部門で3度にわたって受賞！

市民から市長候補へのマニフェスト逆提案、市長選や市議選での市民主催のマニフェスト討論会、総合計画や議会改革への提言など、これまでの私たちの取り組みは、研究者や自治体関係者から高く評価されています。2012年には、第7回マニフェスト大賞市民部門で最優秀マニフェスト推進賞に選ばれました。また2017年、2021年にも、第12回マニフェスト大賞市民部門の優秀賞を受賞しました。



政策研究ネットワーク「なら・未来」のミッション

- ① 市民が主役の自治体の構築に取り組みます
- ② 市民生活に民主主義を根付かせます
- ③ 安心できる市民生活が維持される持続可能な社会づくりに取り組みます

これまでの主な活動

- 市民マニフェスト運動 奈良市長・市議会議員選挙を機に市民による奈良マニフェストを提案
- 「市民の森」ゼミナールの開催 地域づくり、住民自治、ローカル・デモクラシーの担い手などの公共人材養成
- 「市民社会とガバナンス」研究会の開催 NPO、コミュニティ組織等と行政の協働による自治体運営のあり方を研究
- 「議会改革市民会議」の活動 議会報告会、市会議員へのアンケート調査、議会改革フォーラム、議会改革市民会議の開催
- 「行政改革市民会議」の活動 行政課題の検討；財政改革、行政組織風土の改革、参画・協働の自治体運営、地域自治
- 奈良マニフェストの検証・評価活動 仲川元庸奈良市長の奈良マニフェストの検証・評価活動、マニフェストフォーラムの開催
- 奈良市の財政を学ぶための活動 奈良市の財政を楽しく学ぶ 市民による奈良市の財政白書づくり
- 奈良市のまちづくりビジョン検討会の開催 奈良市総合計画の策定のあり方の検討と、「持続可能な都市」政策を提案
- 地域の自治を考える連続セミナーの開催（2015年11月～2016年12月）地域自治の仕組みの検討を13回開催
- 講演会の開催 2016年6月11日「いまこそ 民主主義を問い直そう！」
・テーマ「日本国憲法とローカルデモクラシー～選挙制度を中心に～」・講師 小松浩氏（立命館大学法学部教授）
- 奈良市長選挙（2017年7月9日）に向けて市長候補者との意見交換会を開催
- 多様な勉強会 「なら・未来」の多彩な会員と多様な人脈による勉強会の開催
- 高校生による奈良市へのまちづくり提案コンテスト 高校生から47点の応募があり、入賞作品は市長の前でプレゼン